

報道関係者各位

2017年6月19日  
株式会社アミノアップ化学

**独自培養技術から生まれた「AHCC®」エビデンスの決定版  
『AHCC®臨床ガイドブック』が6月19日（月）発売  
～最新の研究成果から臨床現場の症例報告まで一挙に収録～**

## &lt;ニュースのポイント&gt;

- ◆株式会社アミノアップ化学(北海道札幌市)が製造するAHCC®に関する臨床ガイドブックが発売されます。
- ◆補完代替医療に関する国内・海外の研究者が寄稿しており、機能性食品の意義を問う一冊です。
- ◆既に英語版『Clinician's Guide to AHCC®』が出ており、その後を追う形で今回の日本語版が発売されます。

株式会社アミノアップ化学(北海道札幌市、代表取締役社長:藤井創)が製造する機能性食品素材「AHCC®(Active Hexose Correlated Compound: 活性化糖類関連化合物)」について、最新の研究成果から症例報告までを網羅した医学書『AHCC®臨床ガイドブック』が、6月19日(月)に発売されます。単一の機能性食品素材について医学書が出されることは極めて稀で、AHCC®が豊富なエビデンスを有することを反映しています。

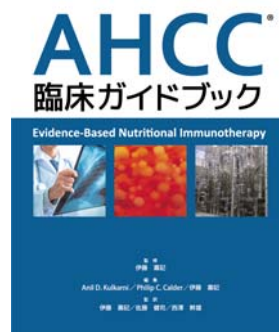
AHCC®とはアミノアップ化学独自の培養技術により1989年に開発された特許成分です。商品化以来25年以上にわたって、世界中の多くの大学や医療機関で研究されており、現在、世界30カ国でサプリメントや健康補助食品として販売されています。

キノコの根の部分にあたる菌糸体を独自の製法で液体培養し抽出されたAHCC®は、他のキノコ製品には見られない部分アシル化 $\alpha$ -1,4-グルカン豊富に含むのが特徴です。成分に関する安全性はもちろん、免疫賦活作用や抗腫瘍作用が動物研究で確認されているほか、がん患者の化学療法の副作用軽減やQOLの改善に寄与するといった報告もあり、がん臨床の現場でも早くから用いられてきました。積み重ねられた科学的データは『AHCC®の基礎と臨床』(2003年)にまとめられ、日本初の健康食品に関する医学書として当時、話題を呼びました。

今回、発売される『AHCC®臨床ガイドブック』は、その後得られた最新の研究報告を引用して執筆された決定版です。先行して、英語版書籍の『Clinician's Guide to AHCC®』が昨年刊行されており、海外の研究者から好評を博しています。発行元は統合医療や機能性食品の研究者らで構成される統合医療機能性食品国際学会(ICNIM)で、統合医療の権威である伊藤 壽記先生(大阪大学大学院医学系研究科 統合医療学寄附講座 特任教授)が監修しています。AHCC®の最新知見はもとより機能性食品や統合医療のエッセンスがまとめられた1冊として、医療従事者・研究者はもちろん一般の方にもご活用いただける内容となっています。書籍は全国の書店の医学書コーナーや医学専門書店のほか、Amazon、メテオ・メディカルブックセンターなどオンラインでも販売されます。

## 『AHCC®臨床ガイドブック』

- 発行: 統合医療機能性食品国際学会(ICNIM)  
 発売: 株式会社ライフ・サイエンス  
 (〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山)
- 発売日: 2017年6月19日(月)  
 価格: 3,800円(税抜き)
- 監修: 伊藤 壽記(大阪大学大学院医学系研究科 統合医療学寄附講座 特任教授)  
 編集: Anil D. Kulkarni(Professor, Department of Surgery, UTHSCH/UTMS, Houston)  
 Philip C. Calder(Professor of Nutritional Immunology, University of Southampton, UK)  
 伊藤 壽記(大阪大学大学院医学系研究科 統合医療学寄附講座 特任教授)
- 監訳: 伊藤 壽記(大阪大学大学院医学系研究科 統合医療学寄附講座 特任教授)  
 佐藤 健司(京都大学大学院 農学研究科 教授)  
 西澤 幹雄(立命館大学生命科学部 生命医科学科 教授)



## <収録内容>

### I. 序論

1. 機能性食品の規制・制度と医療現場での活用  
大野 智(大阪大学大学院医学系研究科 統合医療学寄附講座 准教授)
2. 統合医療と機能性食品  
伊藤 壽記(大阪大学大学院医学系研究科 統合医療学寄附講座 特任教授)

### II. 概論

1. 製造工程  
藤井 紀歴(株式会社アミノアップ化学 製造部 部長)  
工藤 松太郎(株式会社アミノアップ化学 HACCP チーム)
2. 組成  
佐藤 健司(京都大学大学院 農学研究科 教授)  
榎本 真紀(京都大学大学院農学研究科 応用生物科学専攻 海洋生物生産学分野)
3. 安全性評価  
Thomas Walshe (Assistant Professor of Neurology, Harvard Medical School Chief, General Neurology Division, Department of Neurology, Brigham and Women's Hospital)  
西岡 浩(株式会社アミノアップ化学 研究部 部長)

### III. 各論

#### 1. 免疫調節

- 1) 栄養と免疫応答  
Philip C. Calder (Professor of Nutritional Immunology, University of Southampton, UK)
- 2) 免疫調整機能  
Chantal Mater (Professor, Faculty of Health Sciences, University of Ottawa)  
Emilie Graham (Faculty of Health Sciences, University of Ottawa)

#### 2. がん

- 1) がん治療と機能性食品  
大野 智(大阪大学大学院医学系研究科 統合医療学寄附講座 准教授)  
伊藤 壽記(大阪大学大学院医学系研究科 統合医療学寄附講座 特任教授)
- 2) 乳がん補助化学療法を受ける女性患者に対する AHCC の効果  
半谷 匠(東京大学生産技術研究所 炎症・免疫制御学 社会連携研究部門 特任研究員)  
岩瀬 哲(東京大学医科学研究所附属病院 緩和医療科 特任講師)
- 3) 膵がん化学療法と AHCC - 支持療法としての意義 -  
柳本 泰明(関西医科大学医学部 外科学講座 講師)

#### 3. 感染症

- 1) 食品による感染症の予防  
Anil D. Kulkarni (Professor, Department of Surgery, UTHSCH/UTMS, Houston)
- 2) AHCC の感染症に対する防御効果  
安部 茂(帝京大学医真菌研究センター 所長・教授)  
永川 茂(帝京大学医学部医学科 微生物学講座 講師)  
羽山 和美(帝京大学医真菌研究センター 助教)
- 3) アンチセンス転写物を介して AHCC は誘導型一酸化窒素合成酵素遺伝子の発現を抑制する  
西澤 幹雄(立命館大学生命科学部 生命医科学科 教授)
- 4) インターフェロンのアンチセンス RNA と AHCC  
木村 富紀(立命館大学薬学部 薬学科 教授)
- 5) 肺非結核性抗酸菌症  
藤田昌樹(福岡大学医学部 呼吸器内科学 准教授)  
若松謙太郎(独立行政法人国立病院機構 大牟田病院 呼吸器内科 部長)

#### 4. 抗炎症作用

- 1) 抗炎症作用を有する食品  
Anil D. Kulkarni (Professor, Department of Surgery, UTHSCH/UTMS, Houston)

- 2) AHCC の抗炎症作用  
西澤 幹雄(立命館大学生命科学部 生命医科学科 教授)

#### 5. 薬物相互作用

- 1) 医薬品 - 食品相互作用  
Anil D. Kulkarni (Professor, Department of Surgery, UTHSCH/UTMS, Houston)
- 2) AHCC と薬物の相互作用  
Judith A. Smith (Associate Professor, Department of Obstetrics, Gynecology, and Reproductive Sciences, The University of Texas Health Science Center at Houston, Medical School)
- 3) 肝臓代謝酵素遺伝子の網羅的解析  
若命 浩二(北海道薬科大学薬学部 薬理学分野 准教授)

#### 6. 疾病予防への応用

- 1) 宿主の生体調節に対する食物の役割  
Philip C. Calder (Professor of Nutritional Immunology, University of Southampton, UK)
- 2) AHCC および食餌成分によるがんおよび形態異常の予防  
野村 大成(大阪大学名誉教授、同大学大学院医学系研究科、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所)
- 3) AHCC の精神神経免疫学的パラメーター(自律神経バランス、気分および免疫系)に対する効果  
久島 達也(帝京平成大学ヒューマンケア学部 教授)
- 4) AHCC の胃腸機能障害に対する効果  
Fermín Sánchez de Medina (Professor, Department of Pharmacology, CIBERehd, School of Pharmacy, University of Granada)  
Olga Martínez-Augustin (Professor, Department of Biochemistry and Molecular Biology II, CIBERehd, School of Pharmacy, University of Granada)

#### IV. 症例研究

##### 1. がん

- 川口雄才(北河内藤井病院 病院長)  
Norbert Szalus (Director, ImmunoMedica Clinic)  
Edwin A. Bien (Director, LeBIEN Wellness Specialists)  
Massimo Bounucci (Director, Department Clinical Pathology and Surgical Pathology, Integrative Oncology Outpatient, San Feliciano Hospital, Professor, Scienza della Vita, Marconi University of Rome)  
是枝ちづ(明和病院 総合健診センター 副センター長、関西医科大学 内科学第三講座 非常勤講師)

##### 2. 慢性 B 型肝炎に対する AHCC の効果

- Anuchit Chutaputti (Section of Digestive and Liver Diseases, Phramongkutkiao Hospital)

##### 3. 炎症性腸疾患: クロウン病および潰瘍性大腸炎

- Francisco J. Karkow (Professor, Fatima's Faculty)

##### 4. 薬剤耐性でんかん - 小児の難治性でんかんに対する AHCC の効果 -

- Natalia Mikhailichenko (General Director, International Medical Center Nevron)  
Viacheslav Kulagin (Head of the Neurofunctional Diagnostics Laboratory, International Medical Center Nevron)

##### 5. シェーグレン症候群

- Francisco J. Karkow (Professor, Fatima's Faculty)

##### 6. 慢性呼吸器疾患終末期におけるキノコ製剤による代替療法の有用性

- 吉澤 孝之(医療法人社団愛語会 要町病院 院長)  
吉澤 明孝(医療法人社団愛語会 要町病院 副院長)

#### 付録: CASE LIST

がん、その他疾患

## ■世界屈指のがんセンターに従事する医師の声

メモリアル・スローン・ケタリング がんセンター 統合医療科 医長

ゲイリー・デン博士

本書は、AHCC®に関する研究の概要を包括的にまとめたものである。AHCC®の製造方法や成分から、基礎及び臨床研究、症例報告まで幅広いトピックで多くの有用な情報を提供している。また、各論と症例研究では科学的背景を各セクションの導入部とすることで、読者が各研究の臨床的意義との関連性を理解し、研究の全体像を捉えやすい優れた構成となっている。詳細に参照された研究データや結果、豊富なデータ量は、AHCC®がおそらく自然由来の健康食品の中で最も研究されているものであることを示している。さらに健康食品の研究を包括的かつ徹底的に行う方法を例示しており、私は本書から多くを学んだ。(英語版書籍『Clinician's Guide to AHCC』に寄せられた推薦コメントより転載)

## ■株式会社アミノアップ化学

1984年設立以来、「自然の恵みで世界の人々を笑顔にする」というミッションのもと、科学的に裏付けられた機能性の高い素材の開発を行っています。2011年9月に工場と事務所棟を新設。事務所棟は「エコハウス棟」と呼ばれ、太陽光発電、地中熱ヒートポンプ、雪冷房システムなど70項目の環境技術を導入し、CO<sub>2</sub>排出量50%削減を達成しています。

商号：株式会社アミノアップ化学  
所在地：北海道札幌市清田区真栄 363 番地 32  
代表者：代表取締役社長 藤井 創  
資本金：3億6900万円



事業内容：

- ・バイオテクノロジー(微生物大型タンク培養法)による植物生育調節物質、担子菌由来抽出物等の製造及び販売
- ・天然物由来の生理活性物質の開発・製造及び販売
- ・タンク培養、生理活性物質抽出の技術を用いた試験製造
- ・天然由来の農業資材、食品添加物、健康食品素材、医薬品原料の生産
- ・ISO 9001:2008 認証取得 ・ISO 22000:2005 認証取得 ・健康補助食品 GMP 認証取得

HP : <http://www.aminoup.co.jp>

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社アミノアップ化学 営業部 広報担当:藤堂、岩松、三浦

TEL:011-889-2555 FAX:011-889-2375 MAIL: [au\\_pr@aminoup.co.jp](mailto:au_pr@aminoup.co.jp)